

第3回議会事務局研究会シンポジウム IN 松阪

二元代表制を考える ～議会及び事務局体制強化策について～

開催趣旨

地方自治においては、議会と首長が役割分担により、相互にその機能を十分に発揮し、住民福祉の増進を図ることが使命としてある。しかしながら、議会改革を積極的に行っている議会がある一方で、首長の存在感に比べて議会として持てる権能を十分に発揮せず、議会としての存在価値が問われる状況も少なくない。こういった背景を踏まえ、地方自治制度の根幹である「二元代表制」を追求するため、三重県議会の改革を事務局とし支えた高沖氏を講師に招き、議会強化策及び議会事務局体制の強化策を探ることを目的にシンポジウムを開催する。

日時

平成26年1月12日（日）午後1時10分～4時40分

場所

松阪市産業振興センター3階研修室

・松阪市本町2176番地（松阪駅（近鉄・JR）から北西へ約500m）TEL0598-26-5557

次第

受付開始13:00～▼出演者紹介は裏面▼終了後懇親会開催

- 13:10～ 開会・挨拶 駒林 良則さん（議会事務局研究会代表・立命館大学教授）
13:20～ I部 基調講演（60分）
内容：「二元代表制に惹かれて」
講師：高沖 秀宣さん（議会事務局研究会共同代表・元三重県議会事務局次長）
14:20～ 休憩
14:40～ II部 パネルディスカッション（120分）
内容：「二元代表制の追求～政策形成機能と事務局強化の観点から～」
コーディネーター 吉村 慎一さん（社会福祉法人職員）
パネリスト 大西 一史さん（熊本県議会議員）
吉田 利宏さん（著述業・元衆議院法制局・議会事務局実務研究会）
渡邊 斉志さん（国立国会図書館）
梅村 晋一さん（神戸市会事務局長）
駒林 良則さん（議会事務局研究会代表・立命館大学教授）
16:40～閉会・挨拶

参加費

1,000円／交流会5,000円（※当日現金でお支払いください）

その他

定員100名・後日録画配信予定・詳細は「議会事務局研究会HP」

申込み

⇒ <http://kokucheese.com/event/index/132667/>

・※検索する場合「こくちーず」→「第3回議会事務局研究会シンポジウム」




高沖 秀宣 (たかおき ひでのぶ) 研究会共同代表・元三重県議会事務局次長

1953年三重県生まれ。京都大学法学部卒。1979年三重県庁入庁後2002年4月～2011年3月まで9年間、議会事務局にて議会改革に取り組み、2006年都道府県初の議会基本条例の策定事務を担当。02年政策法務監、03年政務調査課長、06年企画法務課長、07年総務課長、08年次長、11年4月松阪県民センター所長、13年4月松阪地域防災総合事務所長。11年6月～三重県松阪市議会議会改革特別委員会（作業部会）アドバイザー。著書：『「二代表制」に惹かれて』（公人の友社、2013年10月）


吉村 慎一 (よしむら しんいち) 社会福祉法人職員・研究会会員

1952年生まれ。中央大学法学部、九州大学大学院法学研究科卒業。1975年に福岡市に採用。1994年に退職し衆議院議員の政策担当秘書に就任。1999年再び福岡市に選考採用。この間、市議会議長秘書、市長室行政経営推進課長、市長室経営補佐部長、議会事務局次長として、市の経営改革、議会改革に取り組んできた。2013年3月定年退職。現在、社会福祉法人猪位金福祉会「暖家の丘」事務長。著書：『パブリックセクターの経済経営学』（共著、NTT出版2003年）


大西 一史 (おおにし かずふみ) 熊本県議会議員・研究会会員

熊本市出身。商社勤務後、内閣官房副長官（園田博之代議士）の秘書を経て、1997年より熊本県議会議員に5期連続当選。ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟共同代表を務め、現在は、熊本県監査委員、熊本大学大学院法曹養成研究科非常勤講師、などを務める。また、議員活動の傍ら、マニフェストや地方自治の研究のため、九州大学大学院法府博士後期課程において研究活動も続けている。


吉田 利宏 (よしだ としひろ) 著述業・元衆議院法制局・議会事務局実務研究会

1987年衆議院法制局入局。以後15年にわたり議員立法や修正案の作成に参画。主な著書に、『政策立案者のための条例づくり入門』（共著・学陽書房）、『元法制局キャリアが教える法律を読む技術・学ぶ技術』（ダイヤモンド社）などがある。現在「議員NAVI」（第一法規）に「議会コンシェルジュ」を連載。議会事務局実務研究会呼びかけ人。


渡邊 斉志 (わたなべ ただし) 国立国会図書館・研究会会員

1967年東京都生まれ。北海道大学文学部卒業後、国立国会図書館に入職。海外立法情報課などで立法調査業務に従事。専門はドイツの立法動向の調査。2008年から2年間、ヘッドハンティングにより石狩市（北海道）教育委員会理事兼石狩市民図書館長を務める。2010年から国立国会図書館関西館に在籍。「地域づくりに図書館を活かす」という観点から「文献調査を活用した地域の政策構想力向上」「市民協働でのまちづくりにおける図書館」という2つのアプローチで図書館の機能を捉え直すべく、研究と実践を積み重ねている。


梅村 晋一 (うめむら しんいち) 神戸市会事務局長・研究会会員

1957年7月兵庫県姫路市生まれ。1980年大阪市立大学法学部卒業。同年4月神戸市採用。88年こうべケーブルビジョン企画係長、91年経済局貿易係長、94年市民局庶務係長(阪神淡路大震災を経験)、97年民間保育所担当課長、2000年市会事務局議事課長、06年神戸ビエンナーレ組織委員会事務局次長、08年市会事務局次長、11年市会事務局長(市会活性化検討会を担当)


駒林 良則 (こまばやし よしのり) 議会事務局研究会代表・立命館大学教授

1955年大阪府生まれ。大阪市立大学院法学研究科修士課程修了。博士（法学）。大阪府勤務後、1985年4月名城大学法学部専任講師、同助教授を経て、2009年4月より現職。2009年8月から議会事務局研究会の代表を務める。最近の著書・論文(議会関係)「ファンダメンタル地方自治法第2版」（共著、法律文化社、2009年）<地方議会担当>「地方議会法制の変容」立命館法学348号（2013年8月）<専門:地方自治法、行政法>